

生活環境の変化に対応するデリバリーセンター 仕分け能力増強のため冷蔵、冷凍を切り分け、新センターを開設

生活クラブ事業連合生活共同組合連合会 様
「生活クラブ飯能第2デリバリーセンター」(埼玉県飯能市)

約60年前、東京の世田谷で200人の主婦が牛乳の共同購入を始めたことをきっかけに生まれた生活クラブ事業連合生活協同組合連合会様の活動は、現在、北海道から兵庫県に至る1都1道2府17県で活動する33生協の事業連合組織として、組合員数42万人を数えるほどに成長されました。

時代の変化、生活スタイルの多様化によって、組合員の個人宅への配送中心に変わりました。それにより物流拠点での作業内容にも変化が生まれ、組合員数の増加による作業量の増加も伴って、飯能デリバリーセンター(2007年1月から稼働)の機能の見直しおよび強化が進められ、飯能第2デリバリーセンターの建設が決定し、2022年8月21日に稼働を開始しました。

飯能デリバリーセンターの冷蔵品、冷凍品、ドライ、季節雑貨のうち冷蔵品を第2センターに切り分け、さらに冷蔵管理による鶏卵の安定供給のための施設も新たに設けました。



▲「生活クラブ飯能第2デリバリーセンター」全景



F.AIR冷却システム

働く方への作業環境対策として、DPSラインには既存センターでご評価いただいている自然対流に近い天井裏エアダクト方式のF.AIR冷却システムを導入し、吸い込みフィルターにより除塵された冷気で庫内温度の均一化を図るとともに、作業場の騒音や人へのドラフト低減により、快適な作業環境を実現するために、DPSラインに採用しました。



センサムセイバープレミアムII

▲集中監視システム
(センサムセイバープレミアムII)クラウド



▲PPSライン FA冷却システムの採用



▲補充前室



▲DPSライン
(デジタルピッキングシステムライン)

安心、安全のコンセプトのもと自然環境、作業環境、省力、省エネご提案

冷蔵設備は自然環境に配慮し、CO₂冷媒とR463A-J冷媒を採用され、働く方への作業環境対策としては、既存センター同様、自然に近い流れで冷気を送るシステム(F.AIR

冷却システム)を導入されました。また、携帯やパソコン端末などからも遠隔で施設内の温度管理や警報の確認ができる集中監視システム(ナカノセンサムセイバープレミアムII、ク

ラウドシステム)も導入されました。飯能第2デリバリーセンターにおいても、弊社エンジニアリング部門は、多岐にわたってお手伝いをさせていただきます。



CO₂冷媒(自然冷媒)

▲CO₂冷凍機
環境対策として自然冷媒(CO₂)を導入し、自然環境に配慮

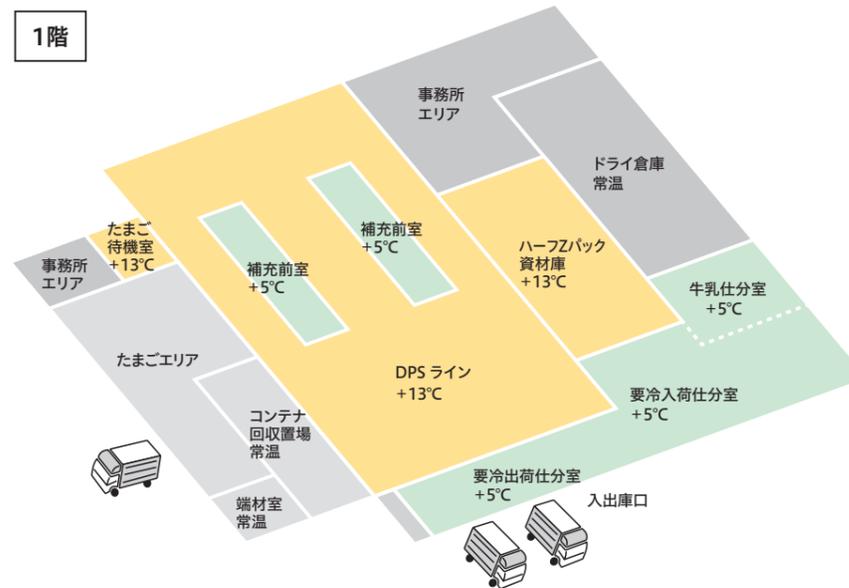
▲要冷入荷仕分室、要冷出荷仕分室、牛乳分室
CO₂ユニットクーラー採用



R463A-J冷媒(次世代冷媒)

▲R463A/R410A兼用冷凍機
環境対策として低GWP値のフロン冷媒(R463A-J)を導入

▲補充前室、DPSライン、ハーフバック資材庫
R463A-Jユニットクーラー採用



■施設概要

所在地	埼玉県飯能市下川崎34
稼働年月	2022年8月21日
敷地面積	17,823㎡(5,391坪)
建物面積	8,729㎡(2,640坪)
1階冷蔵エリア	5,993㎡(1,812坪)
納入設備	冷凍冷蔵庫規模
	冷蔵庫:1,812坪
	集中監視システム (センサムセイバープレミアムII)×1台 (クラウドシステム)
	一体空冷式スクロール冷凍機 (自然冷媒CO ₂)×9台(140馬力)
	一体空冷式スクロール冷凍機 (次世代冷媒R463A-J)×3台 (126馬力)
	冷却器×31台
	F.AIR冷却システム
	ドックシェルター×13台
	電動防熱扉×9面